

世界を知り尽くした 岡村龍哉

岡村 龍哉の宝石・健康紀行「中国」編（2006）

福岡空港から 中国 上海 に辿り着くのに 2時間30分 を要した。機内でのシャンパンサービスを2杯のみ、勧められるワインを飲んでしまい少し酔っていた私は、上海滞在先のウエスティン上海へ直接向かった。近代化された上海の街並みに適した笑顔の心地良い空間であった。



世界人口66億人中13億の民の結集、**中華人民共和国**（面積:9,602,716Km², 人口:約**132450万人**）近年、特に気なる注目の国だ。中でも **上海**（約**1850万人**）は、**首都の北京**（約**1750万人**）を凌ぐ中国一の商業都市、非常に楽しみだ。まずは、上海を知るべく観光だ！





今回は英語ツアーに参加し英語を中心とした輪を作ってみた。(カナダ人が多くバンフやコロンビア大氷原の体験談で直ぐに仲間に) とにかく全ての規模が大きい。圧倒される。悠久の歴史と文化を体感した感銘深い観光だった。



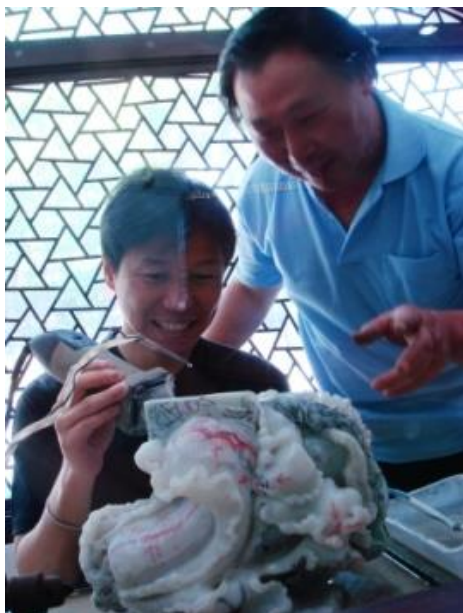


しかしながら、一番印象に残ったのは世界的に有名な「[上海雑技団](#)」だ。
体操大国中国の片鱗と日本の安全管理の徹底を感じた。





上海では、ヒスイ加工の現場を視察した。やはり、 **Jadeite** (ジェダイト・硬玉) ではなく、 **Nephrite** (ネフライト・軟玉) を扱う業者ばかりだ。幸いにも、熟練したジェダイト職人に出会えた。そこのジェダイトを買い付けた。(オーダーメイド加工受注中)



ここで、シンプルに 『ヒスイ』 を説明しよう。

正式名を **JADE** (日本名：翡翠，化学成分： $\text{NaAlSi}_2\text{O}_6$ ，宝石言葉：福德・福財，5月の誕生石) と呼び、モース硬度(押し込み強度)は、 **6.5~7**

である。名前の由来は、「水辺に住むカワセミ」を翡翠と呼び、「その羽の色」に由来する。



纏わる物語としては、少なくとも紀元前 2950 年から、翡翠が皇族の宝石として中国で大事にされ、何千年もの間、翡翠は《愛と美徳の宝石》として珍重されてきた。

JO では、本ヒスイと呼ばれる Jadeite のみを取り扱い、Nephrite は取り扱っていない。ちなみに、中国では、Nephrite のみ産出され、Jadeite の産出は皆無だ。良質の Jadeite は、中国の隣国、ミャンマーのみに産出される。両者の価格・価値は、アコヤ真珠と淡水真珠の相違ほど極端だ。



一仕事を終え、上海カニを食した。かなり小振りだ。カニはタラバ蟹に限る。反面、容易に崩れる絶品のフカヒレは最高だ。(日本は固まりになっているものが多い) 就寝する時間、外から「ガーン、ゴーン」金属音が聞

こえる。24 階なのにと思いながら、窓の外を覗き込むと、高層ビルの工事を昼間同様にあちらこちらでしている。 0:30 なのに……。 **中国経済の 2 ケタ成長の続伸** は、こうした日本では考えられない経済優先の施策が後押ししているのだと確信した。(法律や労働環境が大きく相違) 数日経験すると、気にはならなくなった。(順応し易いのだ)



足を伸ばして、 **蘇州** へ向かった。(上海から高速道路を使って1時間程) 向かう途中にふと気が付いた。ほとんどの **幹線道路が真っ直ぐ** に伸びている。有無を言わさないインフラ整備、そして、都市計画。発達した民主主義国家では考えられない。



計画実行の障害を難なく取り除き（あくまで行政側からだが）、

SPEED と **効率** (efficiency) ・ **有効性** (effectiveness) ・ **経済性** (economy) の **3E** を追求している。（行政は公共性を考えるものだが・・・）

フランス の **パリ** に訪れた際にもやはり同じことを感じた。

ナポレオン時代からのパリの都市計画は整然と行われ、

エッフェル塔 ⇒ **凱旋門** ⇒ **シャンゼリゼ通り** ⇒ **オペリスク**

へ真っ直ぐに伸びる街道は整然とした優美さと問答無用の恐怖を感じた。



パリの規模ではなく、国全体の規模でそれが進むと考えると本当に脅威を感じる。蘇州は中国一のシルクの生産地帯だ。上海に比べると近代化はまだまだで、シルク工場も昔ながらの方法で加工をしている。蘇州シルクを買い付け、人脈作りに励んだ。水郷の周荘（屋形船で癒し）を經由し、上海へ戻った。





今回のコーディネートは上海に入って行われることが多かった。



ウエスティンのコンシェルジュ、[ユニー](#)には大変お世話になった。小柄だが、パワフルで知性を兼ね備えた素敵な女性だった。ロンドンとニューヨークのミュージカルの話題で盛り上がった。今回の上海での見聞で改めて、

P(Plan) → D(Do) → S(See) → A(Action)

の大切さを痛感した。また、元気が全ての源だと再認識をした。

